



2

研究成果
ポスター
プレゼンテーション



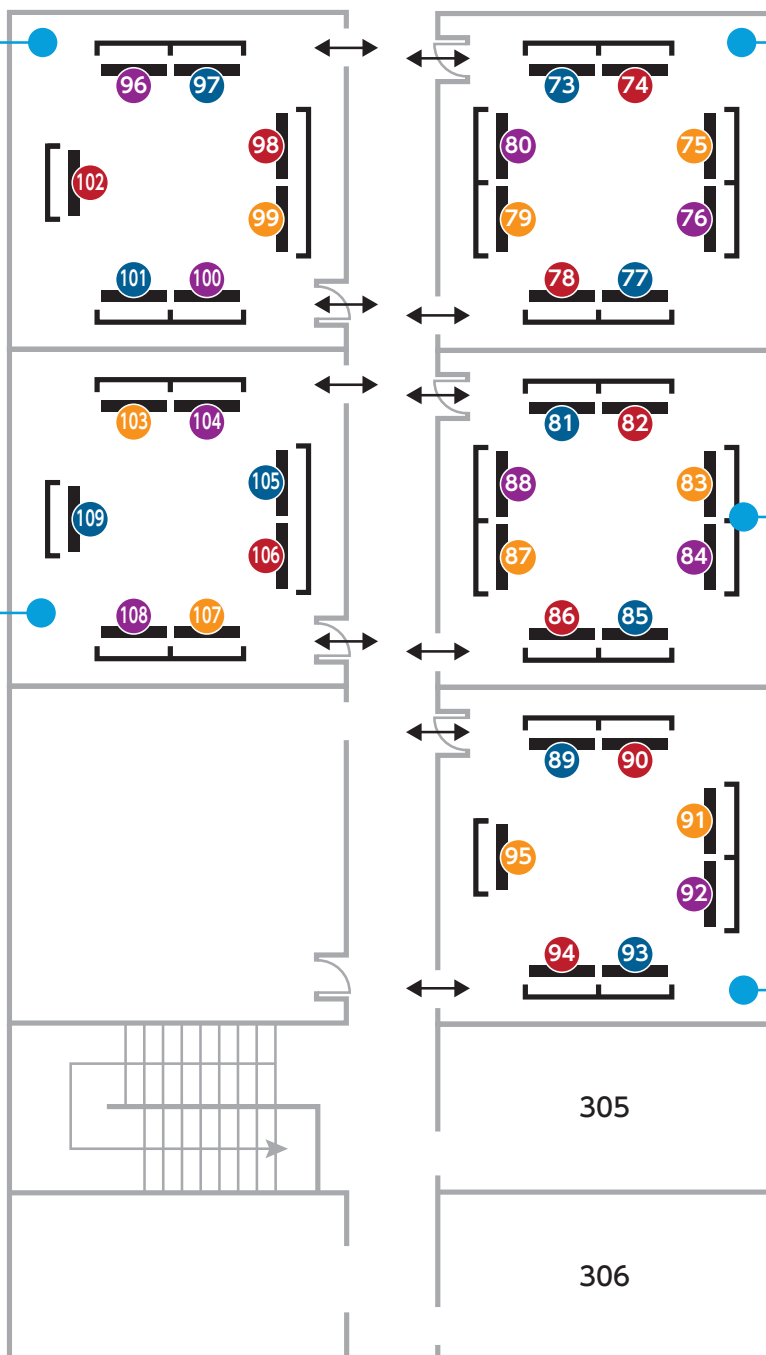
3F

307 教室

- 96 D 秋田県立秋田南高等学校
- 97 A 兵庫県立兵庫高等学校
- 98 B 青山学院高等部
- 99 C 和歌山県立日高高等学校
- 100 D 早稲田大学高等学院・中学部
- 101 A 香川県立丸亀高等学校
- 102 B 京都市立日吉ヶ丘高等学校

308 教室

- 103 C 山梨県立甲府第一高等学校
- 104 D 西大和学園中学校・高等学校
- 105 A 兵庫県立北摂三田高等学校
- 106 B 創価高等学校
- 107 C 岡山学芸館高等学校
- 108 D 名城大学附属高等学校
- 109 A 佐賀県立佐賀農業高等学校



302 教室

- 73 A 大阪府立三国丘高等学校
- 74 B 埼玉県立浦和第一女子高等学校
- 75 C 兵庫県立生野高等学校
- 76 D 校成学園女子中学高等学校
- 77 A 岡山県立岡山操山中学校・高等学校
- 78 B 名古屋中学校・高等学校
- 79 C 明治学園中学高等学校
- 80 D 大阪府立北野高等学校

303 教室

- 81 A 仙台北百合学園中学・高等学校
- 82 B 神戸大学附属中等教育学校
- 83 C 高槻高等学校
- 84 D 早稲田大学本庄高等学院
- 85 A 東京学芸大学附属国際中等教育学校
- 86 B 徳島県立城東高等学校
- 87 C 京都市立堀川高等学校
- 88 D 鹿児島県立甲南高等学校

304 教室

- 89 A 大阪府立泉北高等学校
- 90 B 立教新座中学校・高等学校
- 91 C 神戸市立葺合高等学校
- 92 D 昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校
- 93 A 岡山県立岡山城東高等学校
- 94 B 静岡県立三島北高等学校
- 95 C 福岡雙葉高等学校

302 教室

73 A

発表言語 / 日本語

大阪府立三国丘高等学校

齊藤 拓哉 / 藤本 貴 / 山下 裕貴 / 阿部 奈津子 / 岩崎 祐奈 / 大島 侑奈 / 大坪 千鶴 / 名取 由生

Disastore!

～美味しいストックで安心をお届け!!～

本研究は、災害対策が日本で十分に行き届いていないという社会問題の解決を目的としたビジネスプランです。その内容は、非常時用の食料の備蓄がしたい、または備蓄しているが十分でないビジネスホテルと、団地やマンションの高層階の高齢者に対して、備蓄食料の半年に一度の定期配達サービスを展開し、災害対策を拡充するというものです。災害時の苦しみや被災の不安を減らし、同時に人々の防災意識を向上させることをめざします。

77 A

発表言語 / 日本語

岡山県立岡山操山中学校・高等学校

板谷 舞華 / 池田 希愛

ジェンダーレスが受け入れられる社会に

先行研究によると、日本におけるLGBT教育は他国に比べて遅れているという現状があります。このことは社会にも反映されており、具体的には「府中青年の家事件」の判決にあるように、公的機関でもLGBTの人々への理解が進んでいないと考えられます。これらの研究をもとに、LGBT教育が普及しない要因を法整備の視点から分析、解明することを目的として研究を進めています。今後は岡山で開かれるGID学会に参加し、専門家にお話を伺う予定です。

74 B

発表言語 / 日本語

埼玉県立浦和第一女子高等学校

荒井 里佳 / 大熊 美沙希 / 関根 明澄 / 山水 萌

海外進出した日系企業の使命

海外進出する日系企業は増加していますが、労働者の賃金は世界的に上昇しており、今後人件費抑制のため現地労働者の削減や工場の移転が予測されます。そこで、私達は労働者が人員整理されても再就職につながる方策を提案します。研修制度を充実させ、労働者の日本語能力を高めることや人材育成に関する他の日本企業との協力関係の構築。この方策により労働者と企業双方に利益を生み出し、最終的に経済の活性化が期待できます。

78 B

発表言語 / 英語

名古屋中学校・高等学校

汪 源 / 児玉 侑太郎 / 葛山 欧亮 / 久保田 敦也

Decreasing of sea turtles

～What can we do?～

Sea turtles are decreasing due to the disappearance of sandy beaches. We checked the spawning grounds and the current state of the beaches around Japan. Moreover, after we had interviewed and surveyed, we came to realize how the falling numbers of sea turtles are linked to global environmental issues. Our research was also designed to increase people's awareness to conserve nature.

75 C

発表言語 / 英語

兵庫県立生野高等学校

福原 穂乃佳 / 石橋 春花 / 戸田 悠太 / 磯 日夏里 / 井上 陸人

The appeal of Japanese Charm

More and more foreigners visit Japan these days. We chose the two points of "Sightseeing" and "labor" to advertise Japanese charm. Why do people come to Japan, and for what? We researched the points we had some questions about. We think the Tokyo Olympics in 2020 is the best chance to advertise Japanese charm to the world. Now we realize it again and send it from our viewpoint.

79 C

発表言語 / 日本語

明治学園中学高等学校

松尾 桜子 / 梶木 瞳 / 貞元 愛梨 / 古川 万愛

商店街を元気にし隊

目的は、ソーシャルビジネスを通して利益を得ながら商店街の様々な問題や環境問題を解決することです。仮説の1つ目は毎月海外の違った店を取り入れる方法です。2つ目は、時間帯に応じて店のニーズが変わることに着目し内容を変えるという方法です。これらの取組でビジネスモデルを作ることや元気な商店街にすることができます。また、プラスチックの使用を抑えた二酸化炭素の減少を見込める環境問題の解決にもつながります。

76 D

発表言語 / 日本語

佼成学園女子中学高等学校

松本 実華 / 桑原 泉希

性的マイノリティに対する社会の見方

～他国と比較して～

日本には約13人に1人の割合でLGBTの方たちがいます。しかし私達の日常で彼らの存在を意識することはあまりありません。昨年7月に私達はタイを訪問し、その文化や社会に触れ、LGBTの方たちが社会で大いに活躍している姿を目の当たりにしました。そして日本よりもはるかにLGBTに対する理解が浸透しているように感じました。なぜ日本がLGBT先進国にならないのか、その原因を明らかにするため調査を行いました。

80 D

発表言語 / 日本語

大阪府立北野高等学校

夏山 隼 / 片山 晴人 / 齊藤 ひより / 中尾 竜也 / 山中 福望 / 横地 陽笑 / 吉田 朋樹

ラオスの「主体的な」発展のために

— “癒しの国” の進む道 —

アジア最貧国の1つであるラオス。内陸国というハンデや、人口の少なさが工業国として発展することを妨げています。また温厚で他者に寛容な文化があります。他方で中国は一带一路の一環で、影響力を拡大しています。その中で外国に飲み込まれることなく、主体的な発展をすることが重要であると考えました。そこでハンデを持つラオスが他者に寛容な文化を持つ、という強みを活かし、観光産業により発展していくことを提案します。

303 教室

81 A

発表言語 / 日本語

仙台白百合学園中学・高等学校

渡邊 さや / 加藤 詩野 / 原田 麻衣 / 矢羽々 純鈴

アジア諸国との国際関係

私たちは、近隣アジア諸国との国際関係を調べています。一年次の台湾研修を通して日台関係について、歴史教育が与える影響を考えました。現地では、台湾史上最大の悲劇と称される事件について展示のある「二二八國家紀念館」などで歴史的背景を学び、「台湾日本人会」で現在までの両国の交流の様子を伺いました。これらの経験から、他国と日本との関係についても同様に考えていきます。

82 B

発表言語 / 日本語

神戸大学附属中等教育学校

福田 愛子

被介護者の要介護レベルを下げるには ～メイクセラピー利用の側面から～

現代日本社会では、高齢化により介護問題が深刻化しています。ここで本研究は介護問題の解決策の中でも介護レベルの低下という観点に着目し、介護レベルの低下をメイクセラピーの効果を利用して実現できるのか、また介護現場でのメイクセラピーを普及させるにはどのような活動が必要になるのかをメイクセラピーNPO法人企業への訪問、被介護者へのインタビュー、被介護者に対してのメイクセラピーの実践を通して結論づけました。

83 C

発表言語 / 英語

高槻高等学校

宮迫 要

To Tackle Lifestyle-related Diseases on Pacific Islands

In Pacific island states, the increase in noncommunicable diseases (NCDs), especially lifestyle-related diseases, has become an urgent problem. However, previous research showed that little has been done to collect data on NCDs in this region. Based on fieldwork in Republic of Palau, this research argues that a medical checkup system which is designed for the Pacific island states is required.

84 D

発表言語 / 英語

早稲田大学本庄高等学院

関 智美 / 白戸 二花 / 永尾 一晟 / 栗本 賢 / 太田 楓 / 大畑 璃子 / 西川 なずな

Human trafficking

—Is there nothing we can do to help avoid this almost inevitable problem?

In Nepal, girls are subject to human trafficking. They are forced to prostitute in a harsh environment. We claim that human trafficking in Nepal is due to its underdeveloped democratization. The poverty in Nepalese society is promoting various social problems especially educational environment, discrimination against women, which is influenced by religious belief, and political corruption.

85 A

発表言語 / 日本語

東京学芸大学附属国際中等教育学校

高石 陽菜 / 青山 瑞季

都市におけるビオトープ構築 および利用における利点と課題・有効性の検証

本研究は、都市におけるビオトープの社会的・環境的価値を明らかにすることを目的とします。ビオトープは、ヒートアイランド現象の緩和や二酸化炭素の削減などの効果がある一方、利便性の障害などの点で人の障害になりうるとされています。しかし、これらの課題は管理で克服できるとの仮説を立て、今後は人間の干渉度合いを調査や観察、フィールドワークを通じて特定します。持続可能な社会の実現に向け、研究を進めていきます。

86 B

発表言語 / 日本語

徳島県立城東高等学校

湯浅 稜大 / 北井 大陽

日本人はローコンテキスト型コミュニケーションに対応できるのか

インドネシア研修に参加した私たちは、意見を言語化する必要を感じました。日本人がローコンテキスト型コミュニケーションに対応するためには、英語で行われている「英語演劇」が有効であると仮定します。英語で様々な役を演じることで、日本にいながら多様性を感じることが出来ます。これにより、日本人のよさであるハイコンテキストを残しつつ、ローコンテキスト型コミュニケーションに対応できると考えます。

87 C

発表言語 / 日本語

京都市立堀川高等学校

荒木 空

訪問者からみるハリファックスの特性 —訪問者属性・訪問理由・街イメージをもとに—

馴染みのない地を訪れる際、人々は必ずその地を訪れる目的・選んだ理由を持ち、また渡航前からその地のイメージを影らませているでしょう。そこで本研究では、訪問者一人ひとりが異なる背景を持つことを活かしてその地の特性を導き出すことを目的として、実際にカナダのハリファックスにて現地の語学学校に通う生徒を対象としたアンケート調査を行い、結果を訪問者属性・訪問理由・街イメージの3つの観点から分析しました。

88 D

発表言語 / 日本語

鹿児島県立甲南高等学校

出石 琴美

女性議員を増やすために主権者教育で 生徒の意識を変えることはできるか。

都道府県議会への女性の進出度は低い状態にあり、鹿児島県議会の女性議員は51人中4人です。高校生が議員になりたくない理由は、知識の不足によるものです。女性議員の数が増え、女性の政治的意志決定の場を広げるためには、議員に関する正しい知識を高校生に伝える必要があると仮説を立て、講義を行いアンケートを実施しました。グローバル化が進む現代で、日本が他の先進国に遅れを取っている男女平等に限りなく近づけます。

304 教室

89 A

発表言語 / 日本語

大阪府立泉北高等学校

上野 美沙希 / 大仲 美優 / 久行 伶果 / 徳田 雪乃

将来の英語能力について
～日本の英語このままでええんか？～

日本の英語力向上を目的とし、自分の住む地域の子供たちの英語力を向上できるアクションプランがないか研究しています。そこで、私たちの学校の近隣の小中学校でオリジナルの授業プランを実践し、生徒の英語を学ぶ意欲と学習に取り組む態度に及ぼす影響について検証しています。この研究を通じて、子供たちの学習意欲を向上させる条件や法則性を分析すれば日本の英語力向上につながるのではないかと考えました。

93 A

発表言語 / 日本語

岡山県立岡山城東高等学校

坪井 茉理恵 / 瀧本 菜々香

東京オリンピック
競技場までの道のりを視覚的に案内する

2020年東京オリンピック時には日本語が苦手な外国人が多く訪日すると考えられ、また日本には無料Wi-Fiが少なく使いにくいいため、競技観戦に来た外国人が目的地までの移動手段を把握しにくい状況です。そこで私たちは目的地までの移動方法を図で示す方法を提案します。こうした方法が有効ならば、多くの観光地でも活用できるので、訪日する外国人も増え、国際交流も一層盛んになると考えられます。

90 B

発表言語 / 日本語

立教新座中学校・高等学校

江藤 響 / 神田 佑紀 / 相川 大樹

そうだ！志賀高原まで行こう

日本ではインバウンドが増加しています。志賀高原でも海外からの旅行者が増加してきました。しかし現在、志賀高原の観光客数はピーク時の半分ほどに減ってしまっています。志賀高原にあるスキー場は長野県のほかの場所と比べてときに非常に広大です。しかし交通の便が悪く、なかなか観光客が集まりづらいというのが現状です。そこで、この広大な敷地を生かしてグリーンシーズンの観光に何が出来るかを提案していきます。

94 B

発表言語 / 英語

静岡県立三島北高等学校

岩田 いずみ / 井草 七海 / 奥村 望 / 柴田 佳乃 / 飯田 菜乃 / 山下 愛莉

Let's decrease household wastewater!

Our research aims to raise people's awareness about decreasing household wastewater. We have held workshops with our teaching materials cooperated with LION Corporation and WaterAid. We also send out some tips to share at social media. We would like to hold even more workshops in order to achieve our goals.

91 C

発表言語 / 英語

神戸市立葺合高等学校

細野 詩奈 / 富田 くるみ

How to prevent mackerels' overfishing in Japan

Cans of mackerels has been popular from 2017. However the number of mackerels is decreasing because of overfishing. Japanese fishers take huge amount of mackerels' fry. We suggest the idea that the Japan's government make a law to prohibit the distribution of fry to increase the number of grown mackerels. This can prevent mackerels' overfishing and lead to a sustainable fishing system.

95 C

発表言語 / 日本語

福岡雙葉高等学校

木村 文 / 平田 かのん / 中山 実子 / 香山 礼美 / 橋本 かれん / 西原 みず穂 / 木村 遥可 / 清原 楓子 / 井上 朋香

FUKUO×KA×WA×II

福岡県はアジアの玄関口と言われ、外国人観光客が5年間で3.7倍も増えるほどの活気に包まれています。その増加のほとんどはアジア圏が中心にある現状です。そこで私達はアジア圏だけでなく、世界各国から観光客をインバウンドするために、福岡県の伝統と「KAWAII」を融合させた新たな魅力について研究をしました。2020年の東京オリンピック開催に伴って増える観光客が福岡県を訪れたい街づくりを目指します。

92 D

発表言語 / 日本語

昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校

廣田 花音 / 墨谷 捺希 / 竹内 舞央 / 酒井 想

今こそ考え直すべき ”女性リーダー”

女性グローバルリーダーとは何か。その疑問を追求するために、日本に留まらず世界に目を向けてきた。夏には研修としてアメリカのチャールストンを訪れ、現地の女性リーダーの生の声を聴いた。そこで、企業や社会の中で、現地の女性リーダーが“女性であるから”という理由で差別され、性の壁にぶつかっているという現状を知った。差別のない、性別にとらわれない、リーダーとしてあるべき姿とは一体何なのだろうか。

307 教室

96 D

発表言語 / 英語

秋田県立秋田南高等学校

和田 彩那 / 菊池 風花 / 白渡 萌々子 / 畠澤 英恵



SNOW VEGETABLE PROJECT —A new income source in winter—

We will propose the method of snow vegetables which is widely used in Akita. It can be a new income source during winter to snowy places in the world. Our original SNOW VEGETABLE PROJECT will include methods to spread information on how to grow and sell snow vegetables. We hope more international agricultural trainees will come and help revitalize Akita's agriculture.

100 D

発表言語 / 英語

早稲田大学高等学院・中学部

花原 成 / 佐々木 健人



A community that welcome newcomers to Japan and what we can do to promote this.

Reflecting on our fieldwork regarding the theme of immigrants in Australia, we set a goal of thinking about what we can do to help newcomers and current residents of Japan. During our time in Australia, we learned the importance of having a community of people with similar traditions. We are planning to put our ideas into practice in a way that is feasible for high school students.

97 A

発表言語 / 日本語

兵庫県立兵庫高等学校

山口 結衣



難民発生を防ぐための方策 ～ロヒンギャ難民問題を通して～

難民発生を防ぐ方策の提案を目的とし、ロヒンギャ難民問題を通して研究を行っています。2017年8月のロヒンギャ難民危機に焦点を当て、歴史的な背景を踏まえうえで難民が大量に発生した原因を考えます。そして、当時どのような対応をとれば難民の流出を抑えられたのかについて提案します。また、研究の成果によってロヒンギャ難民の流出を抑えられたということから、展望として今後の世界の難民の発生防止が期待できます。

101 A

発表言語 / 日本語

香川県立丸亀高等学校

有光 華乃 / 濱本 美波 / 増田 朱莉



絵本でカンボジアに教育を with 丸高生

私たちはカンボジアに絵本を送ることを目標に活動しています。一見大がかりに見えますが、高校生でも世界的問題の解決に少しでも貢献できると多くの人に伝えることを目的としています。テーマ設定にあたり、「貧困」と「教育」の関係を調べる過程で「貧困地域では十分な教育が行き届いていない」と分かり、高校生でも可能な現状の解決策として、半永続的なもので教員がいなくても読める絵本を送ることを目標にしました。

98 B

発表言語 / 英語

青山学院高等部

吉原 佐保 / 赤井 純 / 潮るか / 谷ひかり



Producers and Consumers' Power Balance in Coffee Business in East Timor

For these three years, our self-study group, Blue Peco, have visited East Timor every summer seeing the state of coffee agriculture from the producer side. In this year's trip, we witnessed consumers' low consciousness of and consideration for producers, which wouldn't reflect those producers' meticulous efforts. Using the coffee industry as an example, we would like to pursue solutions to how to create better and more equal relationships between both parties.

102 B

発表言語 / 日本語

京都市立日吉ヶ丘高等学校

野口 美津羽 / 三浦 桃佳 / 山本 美有



先入観がさえぎる彼らの可能性 ～変えるために私たちに何ができるか～

障害の有無に関わらず、人々が何事も同様に楽しめたら素敵だと思いませんか？実際は、車椅子の方は高い段差を登れないなど先入観があり、未だそんな社会は実現していません。一人ひとりが抱いている先入観を認め、自身で見直す必要があります。そのためユニバーサルツーリズムを通して、若者目線で全ての人が楽しめる旅行を提案することは、障害を持つ人を取り巻く社会問題を発信し、先入観や偏見を減らす第一歩になると考えます。

99 C

発表言語 / 日本語

和歌山県立日高高等学校

廣崎 智也 / 大谷 香乃



防災カレンダー計画

「より多くの人の防災意識向上」が本研究の目的です。目的の実現は、「情報を普段から目にすることで可能になる」という仮説を立て、その手段として家庭にある壁掛けカレンダーに注目しました。それが「防災カレンダー」を作成、広める計画に至った理由です。カレンダーには海外の災害情報も取り入れます。それにより、防災が日本だけの問題でないことを意識し、グローバル規模で対策を考えるきっかけとなると考えています。

308 教室

103 C

発表言語 / 日本語

山梨県立甲府第一高等学校

堀井 麻矢 / 遠藤 昭翔 / 久保川 力有 / 山下 真輝 / 依田 一紗

竹ストロープロジェクト —海洋生物を救うために—

現在、プラスチックストローを紙ストローに変えようという動きが広がっています。一方で、紙ストローには耐久性やコストなどの問題があります。そこで私たちは耐久性に優れており再利用も可能な竹ストローの使用を提案します。放置竹林を活用する方法を探るとともにMyストローの推進を行い、プラスチックごみによる海洋汚染の改善、SDG'sの目標である「海の豊かさを守ろう」の達成につなげていきたいと考えます。

107 C

発表言語 / 日本語

岡山学芸館高等学校

暮石 琴乃 / 仲田 隼大

人と自然の関わり： トンレサップ湖周辺の調査を通じて

カンボジアにあるトンレサップ湖は、その豊かな自然で多くの恩恵を与えてきました。しかし近年、漁獲量減少や水質悪化が叫ばれ始めました。私たちは水質調査や環境に対する意識調査、現地の子ども達とのゴミ拾い活動を通して、現地の人々がどのように湖と関わっていくべきかを考察しました。ここから得られた知見は、カンボジアだけのものではなく、私たちが人と自然が共生していくための手掛かりになると考えています。

104 D

発表言語 / 日本語

西大和学園中学校・高等学校

藤方 星夢 / 河居 一城 / 中井 祐貴 / 大江 康裕 / 畑中 真織 / 早瀬 裕之

E-shoes ～自分の足で、インドを明るく～

私たちは昨年インドへ行って貧困を目の当たりにし、強い衝撃を受け、貧困を教育で解決できないかと思い研究をしてきました。今、農業の生産量減少を理由に、貧困の削減において気候変動が大きな障壁となっています。これに対応するには農家が情報にアクセスできることが重要とされますが、農家間、男女間に情報格差が存在することが明らかになっています。私たちはこの問題を初等教育を通じて解決するプランを提案します。

108 D

発表言語 / 日本語

名城大学附属高等学校

小坂井 琴未

名古屋市港区南陽地区の水田を保持していくために

本研究の目的は、名古屋市港区南陽地区における農業を持続させ、水田を保持していくための方策を明らかにすることです。この地区は名古屋市内における水田地帯ですが、農業従事者は主に高齢化が原因で減少し、水田の維持が課題となっています。JAや農業従事者への聞き取り調査を通じ、新規就農などこの地区の農業を持続させる方策を検討します。本研究は、引いては国内農業の持続性やSDGsにもつながるものだと考えています。

105 A

発表言語 / 英語

兵庫県立北摂三田高等学校

橋本 さくら / 島田 梨沙 / 福本 恵大 / 山瀬 遥菜

Aim for the society where refugees can settle down easily

The number of refugees is over 65 million people all over the world. In 2017, approximately 20 thousand people applied for refugees in Japan. However, it is difficult to accept them as Japanese refugees. The ratio of acceptance as Japanese refugees is very low. Therefore, we would like to suggest some ideas that refugees can settle down in the Japanese society based on some case studies.

109 A

発表言語 / 日本語

佐賀県立佐賀農業高等学校

大鍋 李由 / 川口 真緒 / 光武 想叶

ベトナムにおける大豆発酵食品の普及に向けて

昨年度から発酵食品をテーマに研究を重ねています。今年度は地域特産物である大豆発酵食品テンペを用いた商品開発と海外での販路拡大を目的として取り組んでいます。ベトナムの方をターゲットにし、地域に在籍するベトナム人を招待しての交流会や試食会を実施しながら商品開発に取り組み、フィールドワークでは、食品の流通調査や日系食品企業の視察だけでなく、ベトナム料理教室に参加し、テンペの普及活動にも取り組みました。

106 B

発表言語 / 英語

創価高等学校

荒井 花菜 / 橋本 絵美 / 平野 絵理

The comparison of the consciousness of nuclear abolishment and current education among high school students in different cities

We compared the situation of current education and awareness of high school students in California, Hiroshima, Nagasaki and Tokyo based on the result of the survey about nuclear abolishment. We were curious about what raises consciousness against nuclear weapons and conducted interviews. Finally, we will suggest what actions we should carry out to enhance consciousness of nuclear disarmament.